

情報教育の実践

守谷市立けやき台中学校

1 はじめに

今年度から、本校では守谷市小中一貫情報教育指導計画に沿って生徒の情報スキルと情報モラルの指導に取り組んだ。情報スキルの指導では、「インターネットを利用した調べ学習」などの指導事項を各教科や、総合的な学習の時間に取り入れ、生徒の情報スキルの向上に努めた。情報モラルの指導では、「情報社会への参画において責任ある態度で臨める」ように各教科や道徳の時間などに指導事項を取り入れ、生徒の情報モラルの向上に努めた。

2 情報スキルに関する取組

＜技術・家庭科（技術分野）での実践例（プログラムによる計測・制御）＞

現在、多くの電気製品には計測・制御システムが組み込まれ、センサで計測した結果に応じて、コンピュータが判断・処理し、アクチュエータで目的の動作を行っている。

今回の題材では、プログラミング学習用教材ロボット「Beauto Racer」を用い、目的や条件に応じて、情報処理の手順を考え、プログラミングを行った。実際に生徒は、コンピュータを操作してプログラムを作成し、作成したプログラムをロボットに書き込んで動作させた。完成したプログラムは名前を付けて保存し、データとして提出してもらった。

成果として、これらの活動を通して「プログラミング」「基本的な情報処理」「ファイルの保存・提出」「ファイルの管理」などの情報スキルが生徒に身に付いた。

3 情報モラルに関する取組

＜技術・家庭科（技術分野）での実践例（ネット社会の歩き方）＞

情報モラルを学べるホームページ「ネット社会の歩き方 (<http://www.cec.or.jp/net-walk/>)」を教材として用いた。ホームページでは、ネット社会での様々な諸問題や解決方法をアニメーションで解説しているので、生徒たちも分かりやすく学ぶことができた。

4 学校独自の取組

（1）携帯ネット安全教室の実施

e-ネットキャラバンより講師の方を招き、全校生徒と希望する保護者を対象に、携帯電話やインターネットを安全に使用するための講習を実施した。

（2）ファイルサーバ上で生徒自身が自分のフォルダ・ファイルを管理

ファイルサーバに生徒が自分のフォルダを作成し、技術・家庭科（技術分野）などで作成したファイルなどを管理する。他人のファイルを改ざんしてはいけないなど、情報モラルを養った。

5 成果と課題

（1）成果

- ・ 守谷市小中一貫情報教育指導計画により、計画的な情報教育を行うことができた。
- ・ 生徒自身が自分のフォルダ・ファイルを管理することで情報スキル、モラルが向上した。

（2）課題

- ・ 携帯ネット安全教室を実施したが保護者の参加人数が少なかったため、保護者の方への啓発活動や、参加しやすいように授業参観などとあわせて行う必要がある。
- ・ 情報教育をどの場面でどのように行うのかをさらに明確化していく必要がある。